

聖地・横浜

—1860's~1960's—

フオート スタジ オの



平成23年度第4回企画展示
下岡蓮杖開業150周年記念

2012年
2月1日(水)~4月15日(日)

開館時間●9:30AM~5:00PM(入館は4:30PMまで)

休館日●月曜日

入館料●一般200円、小中学生100円

主催●横浜開港資料館

共催●横浜市教育委員会

協力●横浜市写真師会、横浜市史資料室

後援●一般社団法人日本写真文化協会、朝日新聞横浜総局、神奈川新聞社、
毎日新聞社横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、tvk

Nihon-odori
YOKOHAMA
JAPAN
横浜開港資料館
横浜開港資料館
Yokohama Archives of History
旧英国総領事館 みなとみらい線日本大通り駅下車
〒231-0021 横浜市中区日本大通3
TEL 045-201-2100



幕末

の開港期、外国人写真家によりその技術が伝

えられた横浜では、下岡蓮杖が日本における営業写真のさがけとなり、また1890年頃には手彩色を施した横浜写真が隆盛を極めました。

20世紀に入り、市内には高い技術を備えた写真館が軒を連ね、横浜写真の伝統を受けつぎながら、技術の研鑽と普及にとめました。1923年の関東大震災、1945年の横浜大空襲で、写真館も大きな被害を受けますが、そのつど時代に呼応した新たな需要を生み出し、復活を遂げていきます。まさしく横浜は、フォトスタジオの聖地と言えるでしょう。

本展示では、下岡蓮杖に連なる横浜の写真館の歩みに焦点をあて、写真文化をめぐんだ街、横浜の姿を再考します。



本山漸 下岡蓮杖撮影 1869年
(本山漸二氏所蔵・当館保管)

昭和初期の雑祭り
岡本三朗撮影
1930年
(岡本すみ子氏所蔵)



前川写真館二代目・前川順三の出征 1941年
(横浜市史資料室所蔵「前川浄二家資料」)



前田橋から望む堀川沿いの景色
彩色写真 1900年頃(当館所蔵)



復興記念横浜大博覧会の歴史行列
写真館のフロート 1935年(当館所蔵)



展示内容

- ① 写真の横浜上陸
- ② 花開く横浜写真の世界
- ③ 写真館の建ち並ぶ街
- ④ 街の出来事を撮して
- ⑤ 廃墟からの復興
- ⑥ 写真技術を磨いて
- ⑦ 報道写真の誕生
- ⑧ 戦時下の写真館
- ⑨ 焦土からの復活



写真館の建ち並ぶ弁天通り 1910年代
右に前川写真館、左に渡辺写真館が見える(当館所蔵絵葉書)

関連行事

- ① 記念講演会「横浜の写真館～幕末から昭和まで～」
 - ◆日時:3月17日(土)午後1時30分～4時30分
 - ◆講師:斎藤多喜夫氏(元横浜開港資料館調査研究員)
南 信一郎氏(横浜市写真師会顧問)
 - ◆会場:横浜開港資料館講堂
 - ◆募集人数:60人(応募多数の場合抽選)
 - ◆受講料:1000円
 - ◆申込方法:「往復はがき」(〒、住所、氏名、電話番号明記)で下記へお申し込みください。はがき1枚につき1名様のみ
 - ◆宛先:〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館 講演会係宛
 - ◆締切:2月29日必着
- ② 横浜市写真師会による写真パネル展示
旧館記念ホールにて 入場無料
- ③ 横浜開港写真館を開設します。
旧館記念室を利用して昔の写真館のスタジオを再現します。

案内図



次回展示予告

横浜の海 七面相 (仮称)

2012年4月21日(土)～7月16日(月・祝)

幕末・明治編 横浜開港資料館
大正・昭和編 横浜都市発展記念館
(両館合同で開催)